

町制50周年記念 第32回中国山地日野

鵜の池

マラソン大会

7月26日(日)
午前10時30分スタート

湖畔のさわやかな風を浴びて走る鵜の池マラソン。
今回は、コースを一部変更し、
湖畔を一周する2.3^キと、
5^キ、10^キの3コースで行います。
また、今回はスペシャルゲストとして、
マラソンランナーの谷川真理さんも参加、
一緒に汗を流していただきます。
そのほか、J A女性会や岩屋クラブなどによる、
大山おこわやアユ塩焼きなどの地元名産品のバザーや、
特別賞、お楽しみ抽選会もあります。
どうぞふるって参加ください。

場 所 鵜の池湖畔(雨天決行)
受 付 午前9時～午前10時
開会式 午前10時～
スタート 午前10時30分～
クラス一覧表

距離	クラス	区 分
2.3 ^キ 午前10時30分 スタート	A	男子(小学生)
	B	女子(小学生)
	C	女子(中学生以上59歳以下)
	D	男子(60歳以上)
	E	女子(60歳以上)
5 ^キ 午前10時45分 スタート	F	男子(中学生)
	G	男子(高校生以上39歳以下)
	H	男子(40～49歳以下)
	I	男子(50歳～59歳以下)
	J	男子(60歳～69歳以下)
	K	男子(70歳以上)
	L	女子(高校生以上39歳以下)
10 ^キ 午前10時35分 スタート	M	女子(40歳以上)
	N	男子(高校生以上39歳以下)
	O	男子(40歳以上)
	P	女子(高校生以上39歳以下)
ファンラン 2.3 ^キ 午前11時40分ごろ スタート予定	Q	女子(40歳以上)
	R	男女(年齢制限なし)フリークラス、誰でも自由に走れます。タイム計測はありません。



スペシャルゲスト
谷川真理さん
(マラソンランナー・タレント)

東京国際女子マラソン優勝
パリマラソン優勝
ホノルルマラソン3位

大会前日は、谷川真理さんによる講演会が開かれます。
日時 7月25日(土) 午後7時～
会場 町文化センター
演題 未定
参加費 無料(要整理券)
整理券の申込み・問合せ
D・スポーツ事務局(電話72-2323)、町教育委員会(電話72-2107)
主催 D・スポーツ
後援 町、町教育委員会、町公民館、町体育指導委員会、鵜の池マラソン実行委員会

- 表彰 各クラス(A～Q)の1～3位に賞状と副賞を授与します。1位には日野米をプレゼント
参加者に参加賞(大会オリジナルTシャツ)、完走者全員には完走証を授与
抽選会 日野米やイノシシ肉、アユなど、まちの特産品が当たる「お楽しみ抽選会」を開きます
参加料 一般2,000円、高校生1,000円、中学生以下およびファンラン(R)クラス500円
日野町内の小・中学生は無料
申込方法 申込用紙に参加料を添えて、教育委員会または町公民館までお申込みください
(申込用紙・大会要項は教育委員会、町公民館にあります)
Rクラスのみ当日受付可(この場合は参加料無料、参加賞なし)
申込期限 6月26日(金)当日消印有効
問合せ 町教育委員会内 鵜の池マラソン実行委員会(電話72-2107)

～大会終了後、長楽寺や黒坂鏡山城跡などの町内史跡めぐり・解説も行われます～

まちの話題



散歩を楽しむ姿があちこちに

花の競演楽しむ

滝山公園つつじまつり

日野町のツツジとサクラの名所、滝山公園(中菅)で、恒例のつつじまつりが、4月11日から29日まで開かれました。

公園内には、約3万本のミツバツツジと、約100本の遅咲きの八重桜があり、その競演を楽しみに、県内外から多くの行楽客が訪れました。

また、期間中は公園売店や露店も開かれ、行楽客は、地元の産品を買い求めたり、つつじの下で弁当を広げたりと、花に囲まれたひとときを楽しんでいました。

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。
★役場企画政策課まで (電話7210332)

皆さんのおかげです

オシドリ募金を町に寄付

4月17日、オシドリグループ(池岡幸三代表)が、根雨のオシドリ観察小屋駐車場に設置している募金箱に寄せられた15万1770円を町に寄付しました。

事務局の森田順子さんは、「駐車場では、セルプひのの皆さんが出店され、観察に来られた皆さんに声をかけていただいていたこんなに集まった。これも皆さんのおかげ」と話し、町長に募金箱が渡されました。オシドリ観察小屋には、昨シーズン1万5000人以上が訪れました。



募金箱はセルプひの手作り



ゴール目指して懸命に漕ぐ

日野川、春の風物詩

県カヌー選手権大会

4月19日、第26回鳥取県カヌー選手権大会(鳥取県カヌー協会主催)が、カヌーの里特設コースで開かれました。

西日本有数のカヌーコースでの開催とあり、西日本各地から集まった選手約50人が参加。スラロームとワイルドウォーター、チームレースの3種目が行われました。

当日は、川の水量も十分。ゆつたり流れる淵や、岩がのぞく急流など、スリルに富んだコースの中、選手は大きな水しぶきを上げながら漕ぎ下るなど熱戦が繰り広げられ、川沿いの観客から大きな声援が送られていました。

城下町の案内人

黒坂のまち紹介地図が完成

城下町黒坂のまちを活性化しようと、黒坂鏡山城下を知ろう会(牧智也会長)が中心となって、黒坂の案内地図が、町公民館横に設置されました。

この地図は、江戸時代の城下の絵図を中心にした、昔と今の黒坂のまちの様子がわかるもので、鏡山城や黒坂の神社、寺をはじめ、黒坂周辺の観光案内なども掲載されています。

4月20日に行われた除幕式で、知ろう会副会長の久城博さん(黒坂)は、「1年前から準備を始め、多くの皆さんのおかげで看板ができた。鏡山城は、開城からおよそ400年。歴史を飾る黒坂の顔として役立てたい」と、喜びを語りました。



関係者による除幕が行われる